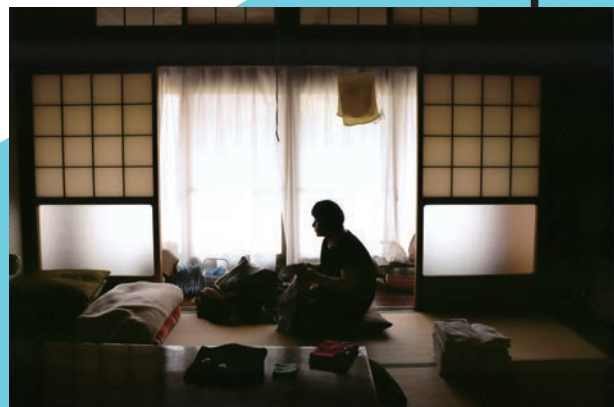


# TopEye



2024年度  
第1回  
TopEye  
フォトコンテスト  
結果発表!



組写真部門  
「家族」 吉岡美緒  
和歌山県立神島高等学校2年

## 2024.6月 リニューアル号



組写真部門  
「夏の終わりの8月」 菅野琉星  
宮城県白石工業高等学校3年



2024年度第2回TopEyeフォトコンテスト

募集開始 **6/28金** ~ **9/10火**

詳細はコチラ



第72回ニコールフォトコンテスト  
スペシャルコンテンツ **締切間近!**

募集開始 **4/1月** ~ **7/5金**

詳細はコチラ





2024年度第1回

# TopEye フォトコンテスト

2024年度より年4回の実施が決定し、組写真部門、単写真部門、新人賞を新設。  
応募総作品数は830作品! 皆さんご応募ありがとうございました!

## 組写真部門

重厚なテーマの作品が多かった組写真部門。技術の高さだけでなく、組写真ならではのストーリー性や仕上げの統一感、学生らしい切り取り方などが評価ポイントになりました。



賞状 CREATORSグッズ5点

### 「家族」吉岡 美緒

和歌山県立神島高等学校2年

「日常的な被写体でも、撮り方、捉え方、テーマ性によってドラマチックに写し出すことができるんですね。ただそれには距離感の見定めや撮り分けなど多くの工夫が必要ですが、そのバランスがすごくいい。技術を使いながらストーリー性のある展開で、組写真ならではの表現ができています」(熊切)  
「普遍的なシーンでありながら、繊細な表現が素晴らしい。均一な視線というよりは、自分から被写体を見つけていくんだという意思を感じます」(秋山)



### 受賞のコトバ

TopEye賞にご選出いただきありがとうございます。顧問の先生からは「いい写真やな」と褒めていただいた写真ですが、まさか受賞にいたるとは想像していませんでした。とても驚いたのと同時にうれしく思い、家族と喜びを分かち合いました。1番身近にいる大切な家族の日常を伝えたいという気持ちで、光やフレーミングを意識して撮影しました。家族の大切さについて感じていただけたらうれしいです。



賞状 Tシャツ+キャップ

### 「残穢」菅野 琉星

宮城県白石工業高等学校3年

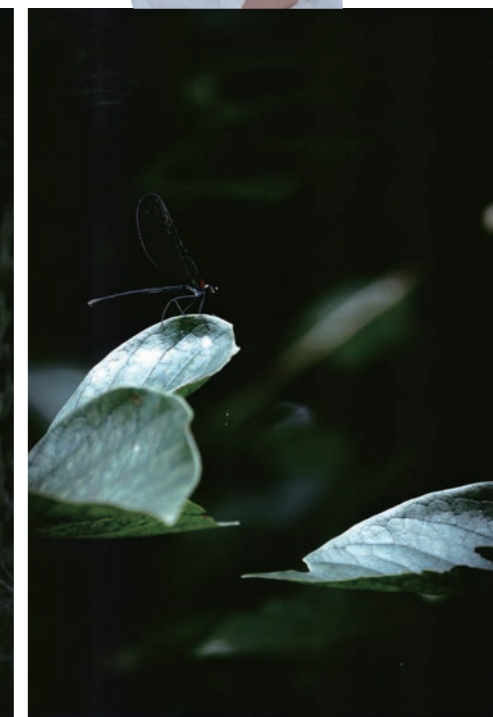
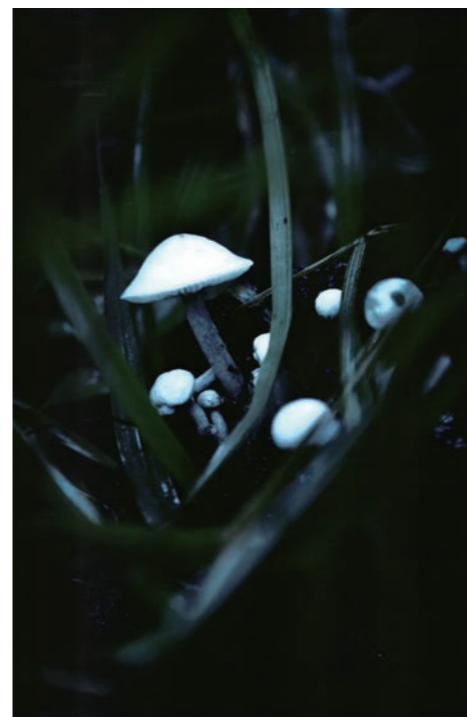
「人の手が加えられていない静かな森に入ってしまったような世界観。それを組写真によってうまく作り出すことができています。植物や昆虫が存在する雰囲気、3枚でうまく統一されていますし、写真を見る側もまるでその場所に立つことができたと感じるような、そんな没入感を得られる素晴らしい作品だなと思いました」(秋山)

### 受賞のコトバ

この作品は枯れて残ってしまった「残りもの」を表現した作品です。植物や生き物は最後に枯れて死んでしまいます。ですが、ただ枯れて死んでしまうのではなく、この残りものは次への命に変わります。このような生命の動きを写真に活かすのはとても難しかったです。

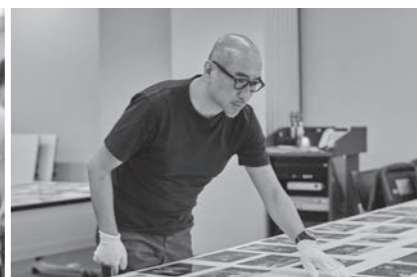


単写真部門のTopEye賞とW受賞!



## No awards

審査の結果、組写真部門の新人賞は該当者なしでした。次回に期待しています!



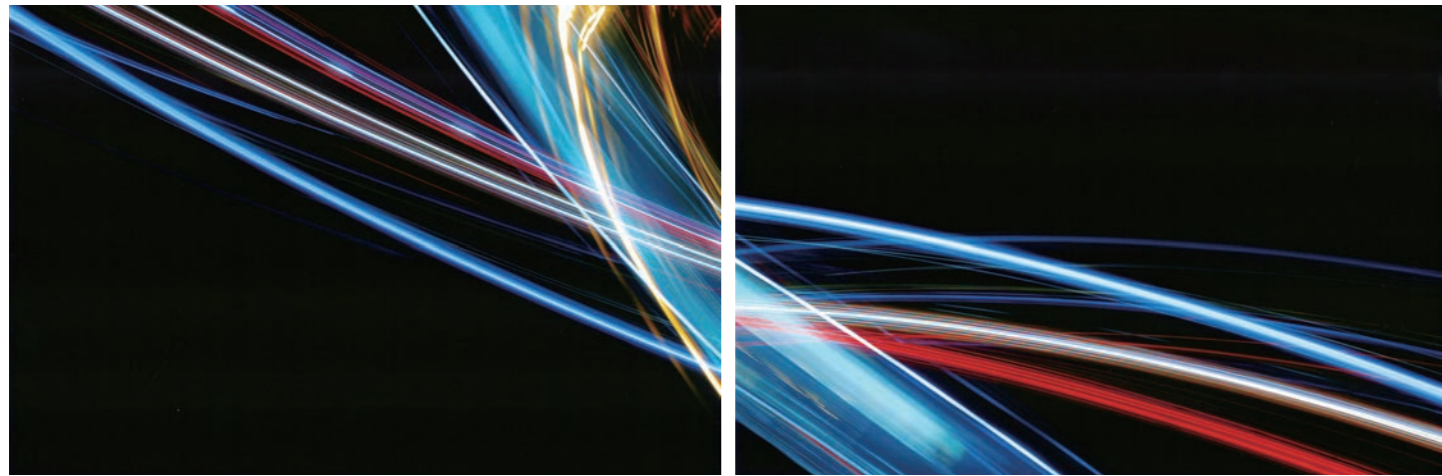
# 銀賞

2024 / 第1回

賞状 CREATORSキャップ

「夏の影」や「あそび心」は、背伸びせず身の回りのものを撮影しているから見る側は馴染みやすく、撮影者の心情も感じ取ることができます。写真を撮ろうという気持ちがないと見過ごしてしまうようなものが切り取れている作品はインパクトがありますね」(秋山)  
「がんばれ商店街」は、普通の商店街なのかもしれないけど、非常に魅力的な表情が写し出されている生き生きとした作品です。そこで生活する人々がただ写すのではなく、1番いい顔を撮ってあげたいという思いが見えてきます。撮り方に少しずつ変化を加えているのもいいですね」(熊切)

「for you」今井 奏良  
群馬県立富岡実業高等学校2年



「がんばれ商店街」賀久 愛那  
八代白百合学園高等学校2年(熊本県)



「ただ一つ」金子 真奈実  
八代白百合学園高等学校3年(熊本県)



「夏の影」太田 素緒  
女子美術大学付属高等学校・中学校 中学2年(東京都)



「あそび心」山根 楓  
和歌山県立神島高等学校1年



# 銅賞

2024 / 第1回

賞状 CREATORSタオル

「〈帰り道〉を見て、やはり日常を絶景に変えるのが写真の力だなと。特別な場所に行かなくても、自分が綺麗だなと感じたものが作品になり得るといふことを、この写真はよく表せていますね。〈泡沫夢幻〉は、被写体はさまざまだけど、仕上げ感をきちんと統一することで一つの世界観が表現できています」(熊切)  
 「〈愛を込めて〉は、この写真の背景にある物語に想いを馳せることができます。それを3枚で表現し切っているのが素晴らしいです」(秋山)

「なびく」丸山世梨加  
和歌山県立神島高等学校3年



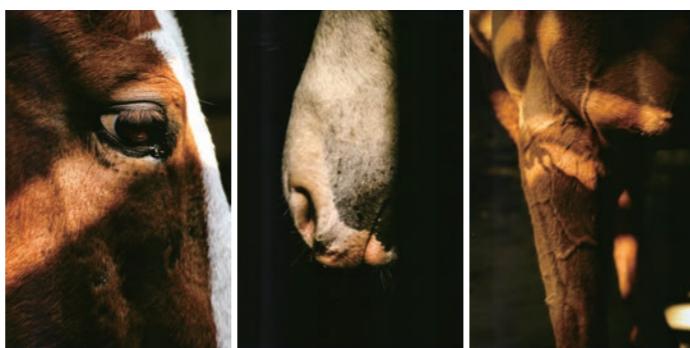
「夏が咲く」田村 妃菜

富山県立富山東高等学校3年



「light」武本 綾花

帝塚山学院中学校高等学校 高校3年(大阪府)

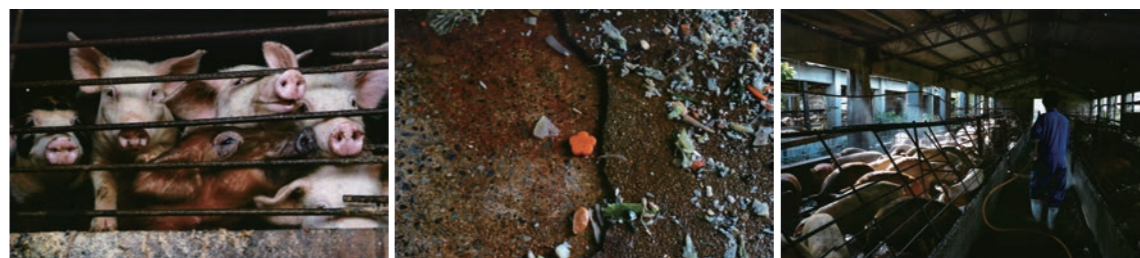


「帰り道」佐々木 南実

東京都立久留米西高等学校1年



「愛を込めて」知花 結 沖縄県立浦添工業高等学校2年



「散歩での発見」梅田 知優

八代白百合学園高等学校2年(熊本県)



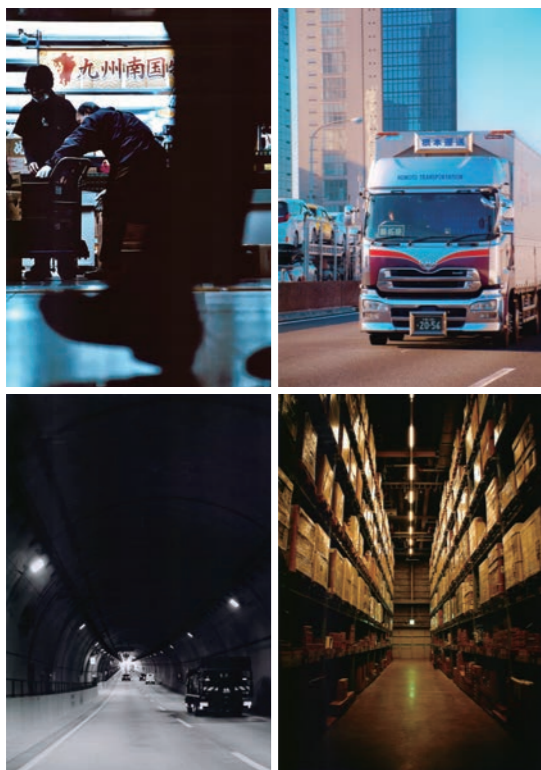
「心地よい日」安慶名 悠 沖縄県立浦添工業高等学校3年



「静物」高子 心 宮城県白石工業高等学校3年



「私達に見えぬ間に」堀 和史  
日本大学第三高等学校3年(東京都)



「泡沫夢幻」堀口 遥

帝塚山学院中学校高等学校 高校2年(大阪府)



## TopEye フォトコンテスト

2024年度 成績中間発表vol.1

詳細は表紙の  
 次回締切  
**9/10** 火  
 当日必着  
 二次元コードからチェック!

### 組写真 部門

- 1位 和歌山県立神島高等学校 ..... 160pt
- 2位 宮城県白石工業高等学校、八代白百合学園高等学校 ..... 110pt
- 3位 群馬県立富岡実業高等学校 ..... 60pt
- 4位 沖縄県立浦添工業高等学校 ..... 50pt
- 5位 女子美術大学付属高等学校・中学校、帝塚山学院中学校高等学校 ..... 40pt

### 単写真 部門

- 1位 宮城県白石工業高等学校 ..... 140pt
- 2位 八代白百合学園高等学校 ..... 100pt
- 3位 沖縄県立浦添工業高等学校、中越高等学校 ..... 70pt
- 4位 神戸国際大学附属高等学校、帝塚山学院中学校高等学校 ..... 50pt



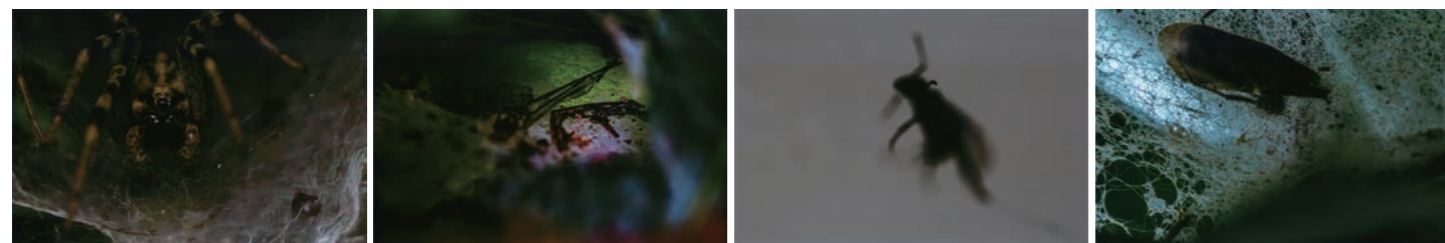
「今回の組写真部門は、同じモチーフ、同じ距離感でまとめている作品が多かった印象です。同じイメージの羅列ではなく、もう少し抑揚やストーリー性をつけることを意識するといいかもかもしれません。そうすればより奥行きのある表現になってくるはず。逆説的なアドバイスをすると、とことん徹底して定点観測のような作品にするのも手です。きっちり揃えたら、それはそれで面白く、振り切った個性のある作品になると思います」(熊切)

八代百舌学園高等学校2年(熊本県)



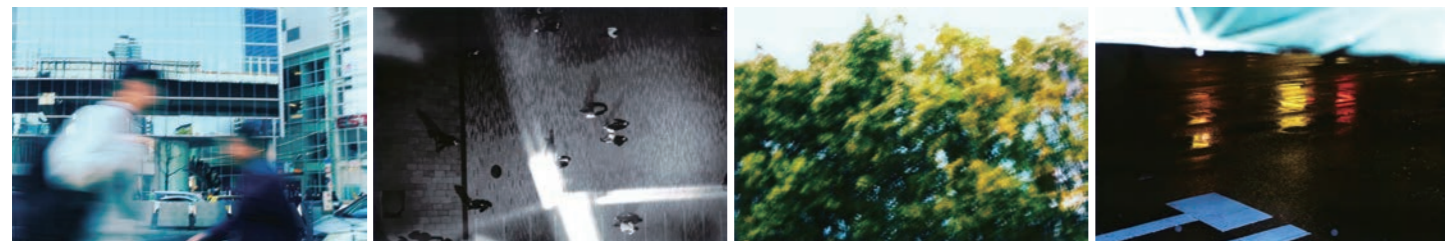
「有為転変」市川 叶夢

群馬県立富岡実業高等学校3年



「遠ざかる」豊田 真之

大阪府立工芸高等学校2年



「Victory Road!」木下 由翔

静岡県立浜松西高等学校3年



「自然の形」杉嶋 亮飛

宮城県白石工業高等学校1年



「泥酔」齋 秀哉

宮城県白石工業高等学校3年



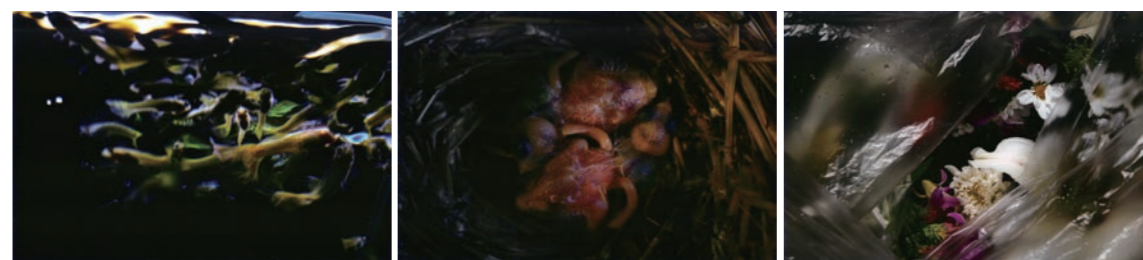
「相棒」三島 帆加

和歌山信愛中学校高等学校 高校2年



「命と色」中山 鈴花

沖縄県立浦添工業高等学校2年



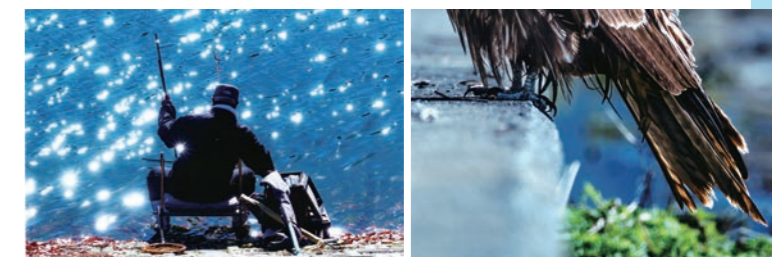
「祖母」船越 遥

同志社女子中学校高等学校 高校1年(京都府)



「釣り日和」倉本 妃杏

群馬県立富岡実業高等学校2年



2024年度 第1回 総評

「学生らしさ」と「被写体愛」がカギになる

熊切:今回は厚重なテーマの作品が多かったですね。それもOKですが、明るいテーマでも撮影できると、より表現の幅が広がります。ハッピーな写真って何だろう?と考えると、新しい被写体やテーマとの出会いがあるんじゃないかな。秋山:ポジティブなイメージでも作品作りはできますもんね。まずは身近なところに目を向けてみると、そういった固定観念にとらわれずに作品に取り組めるはず。熊切:被写体愛は大人になってからいくらでも撮れますから。学生こそその距離感、場所、イベントを意識して、今だから撮れることは何なのかを考える。そうすればポジティブ

だったり、パワフルだったり、若さだったり写ってきます。今見たいのはそういうストレートな写真表現ですね。秋山:私が見たいのは、撮った人の「好き」が写っている作品。これは写真に収めると絵になるね、というだけでなく、そこに自分の個性や興味を乗せられると、より際立つ作品になるんじゃないかな。熊切:被写体愛ですね。これが大好き、という気持ちがあれば何でも絵になる。若いうちにそういう対象を見つけてほしい。秋山:自分の好きなものやイメージをちゃんと言葉にしてみるのもおすすめです。それが上達への近道になりますよ!



審査員 熊切 大輔  
東京工芸大学を卒業後、日刊ゲンダイ写真部を経てフリーランスの写真家として独立。ニコナレッジ講師。ニコナレッジ講師。アドバイザー。公益社団法人 日本写真協会 会長。

審査員 秋山 華子  
大阪芸術大学写真学科卒業後、写真家・絵作峰子氏に師事。大阪芸術大学写真学科非常勤講師。ニコナレッジ講師。アドバイザー。



# TopEye フォトコンテスト

## 単写真部門

大人びた洗練した表現から学生らしい瑞々しい表現まで多彩な作品が揃いました。TopEye賞の菅野さんは組写真部門・金賞とのW受賞!



賞状 CREATORSグッズ5点

### 「夏の終わりの8月」 菅野 琉星

宮城県白石工業高等学校3年  
「モノクロかつ単写真。シンプルな表現にならざるを得ないのに、非常にストーリー性を感じます。このふたりは姉弟なのか? なぜこういう表情なのか? と、想像を掻き立てられる作品です」(熊切)  
「光の加減もすごく秀逸です。背景に人物が浮かび上がるような写り方で、強い光と意志の強そうな女の子の表情がマッチしています。光の雰囲気と被写体の表情がうまく合った瞬間を収められているのが素晴らしい」(秋山)

#### 受賞のコトバ

TopEye賞の受賞を知ったときは「よっしゃあ!」と体が震えるほどうれしかったです。祭りの日に人がたくさんいたなか、何気なくフォーカスしたときに周りにいた人たちが一瞬別け、同じ浴衣を着た姉弟の姿が見えた瞬間にシャッターを押しました。どんなときでもフォーカスすることで、とてもいい瞬間が生まれることを心から感じました。今まで指導してくれた顧問の先生や支えてくれた両親に感謝しています!



賞状 Tシャツ+キャップ

### 「青春」 小林 結芽

中越高等学校2年(新潟県)

「楽しみながら撮影したんだろうな、ということがよく伝わってきます。キラキラとした瑞々しい雰囲気が、散らばった青い折り紙とマッチしていますね。まさに今しか撮れない、という作品ではないでしょうか。ただシャッターを切る、ポーズを決めてもらう、というだけでなく、1枚の写真として完成させるためのいろいろな工夫が、色の作り方やボケの出し方から感じられます。そういう意図が伝わってくるのもすごくいいなと思いました」(秋山)

#### 受賞のコトバ

このたびは金賞をありがとうございます。この作品は折り紙の鶴を飛ばしている瞬間を撮ったもので、被写体の笑顔が印象的な1枚です。ここまで評価されたのは私ひとりの力によるものではなく、多くの先輩方が的確なアドバイスをくださったおかげです。本当にありがとうございます。



賞状 CREATORSクロス

※新人賞1点は規約違反が判明したため入賞取消となりました。

### 「おほろげ」 カリム デイナ

トキワ松学園中学校高等学校 高校1年(東京都)

「テクニックをしっかり理解できていますね。このまじい写真をたくさん見て、いい表現をたくさん学んでいってほしいです」(熊切)



### 「放浪」 山形 和輝

大分県立鶴崎工業高等学校1年



「特別なことが起こってなくてもいいんですよね。心が動いたな、という瞬間にシャッターを押したんだという気持ちがよく伝わってきます。その感覚を忘れないでいてね、とアドバイスをしたいです」(熊切)

# 銀賞

2024 / 第1回

賞状 CREATORSキャップ

「雄叫び」は、本来なら1番手前の迫力ある顔を中央に置くのがセオリーですが、この“端感”がたまりません。水も人も構図も躍動しているからライブ感があり、偶然性の面白さがよく写っている。報道写真のように力強いです」(熊切)  
「空の大掃除」は映り込みの取り入れ方が秀逸です。ずっと追ってきたのかなと思うくらいふたりの関係性もうまく表れています。構図法に則っているわけではないけど、写り込み、人物のバランス、色彩から作者の個性を感じます」(秋山)

「迷い星」 新和 裕介  
神戸国際大学附属高等学校2年(兵庫県)



# 銅賞

2024 / 第1回

賞状 CREATORSタオル

「次のお客さまー!」は、手をフィーチャーすることで動きと表情が生き生きと見えます。特別な人を撮らなくても、いい瞬間や表情を捉えて構図をきちんと押さえれば、説得力は生まれるんですね」(熊切)  
「My palette」は、妹の心を覗き見しているような兄の心境を感じます。ふとした瞬間に目を向けられていますし、それが薄暗い光によって浮かび上がっている様子は、誰しもの思い出にあるような一瞬を想起させます」(秋山)  
※銅賞1点は規約違反が判明したため入賞取消となりました。

「ワイルドサンタクロース」 上江洲 心音  
沖縄県立浦添工業高等学校3年



「着陸準備」 岩田 麻央  
帝塚山学院中学校高等学校 中学2年(大阪府)



「雄叫び」 木吉 彩乃  
八代白百合学園高等学校2年(熊本県)



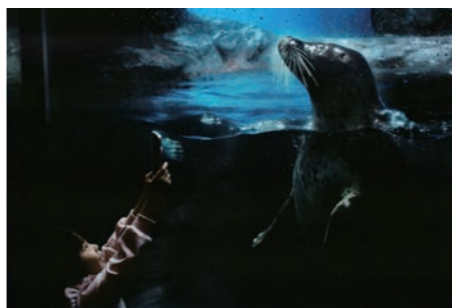
「空の大掃除」 新妻 翼  
宮城県白石工業高等学校2年



「天つ空へ」 藤本 凌海  
大阪府立四條畷高等学校3年



「シャッターチャンス」 吉永 有沙  
八代白百合学園高等学校2年(熊本県)



「碧へ昇る」 長谷川 直人  
神奈川県立横浜瀬谷高等学校2年



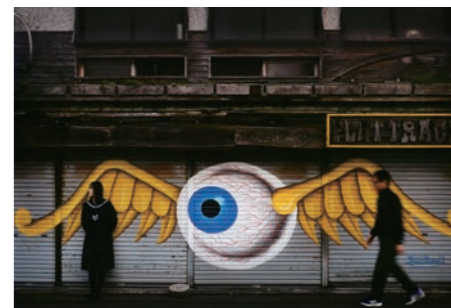
「ご飯の時間よ」 金城 花音  
沖縄県立浦添工業高等学校3年



「静」 都築 結菜  
香川県立丸亀高等学校2年



「重なる視線」 河口 菜奈  
八代白百合学園高等学校2年(熊本県)



「My Palette」 藤澤 心  
大阪府立生野高等学校2年



「次のお客さまー!」 松井 理央  
同志社女子中学校・高等学校 中学2年(京都府)



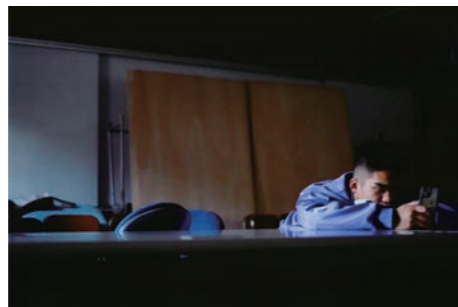
「笑顔の魔法」 鎌田 大飛  
仙台市立仙台工業高等学校3年(宮城県)





「くおいてけぼり」は、シンプルだけど光をうまく捉えられています。ネモフィラと1輪の赤い花を主役にするだけでなく、光と影の表現を重ねることでよりドラマチックに写している。さらに構図を思いっきり引くことで、しっかりとストーリーを感じさせる絵作りができていますね。(熊切)  
 「く想い人」は、距離感のある撮り方に新鮮味を感じます。被写体の視線や寂しげな背景からも撮影者と被写体の関係性が見えてくるのが面白いです。(秋山)

「想い人」溝口 雪  
東京都立武蔵村山高等学校1年



「視線の先には、幸せの形」屋富祖 幸  
沖縄県立那覇工業高等学校2年



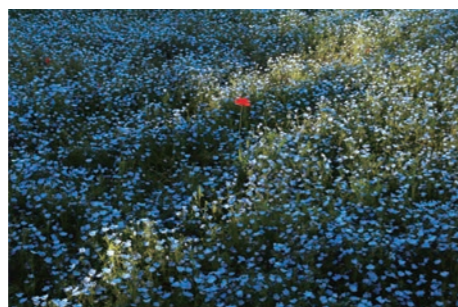
「沖縄のバブルガール」當間 琉美夏  
沖縄県立浦添工業高等学校1年



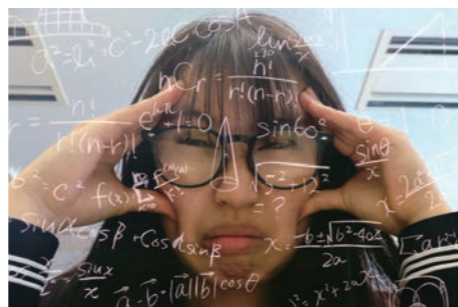
「異世界」友安 梓乃  
帝塚山学院中学校高等学校 高校1年(大阪府)



「くおいてけぼり」水上 実紅  
東京都立久留米西高等学校1年



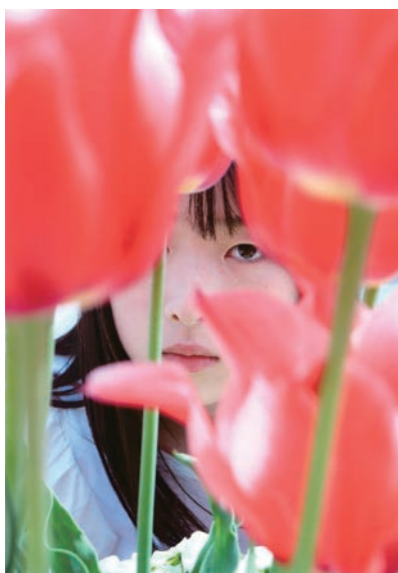
「わっかんねー!」生島 百華  
八代白百合学園高等学校2年(熊本県)



和歌山県立神島高等学校3年 「祭囃子の正体」丸山 世梨加



富山県立富山東高等学校3年 「あいのほな」杉浦 萌花



神戸国際大学附属高等学校2年(兵庫県) 「訪問」岡田 妃桜里



八代白百合学園高等学校3年(熊本県) 「眩」川野 慈月



プロにキミの作品を見てもらおう!

# オンライン講評会

## 「部活におじゃまします」

TopEyeリニューアルに伴い、新しいイベントが始動! コンテスト審査員でもある写真家・熊切 大輔先生が、全国から集まった写真部の作品をオンラインで講評しました。

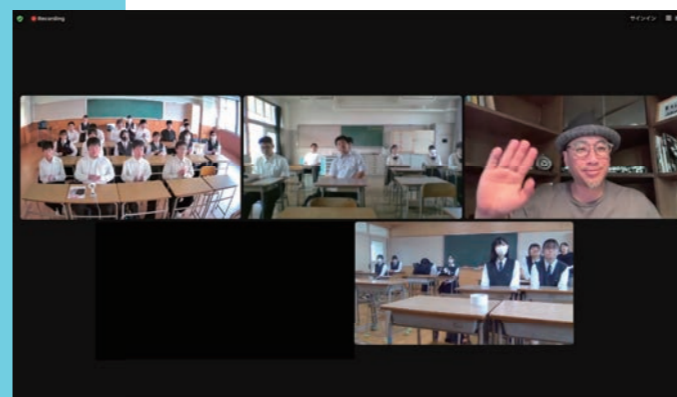
### 1 講評会スタート!

今回の講師は...



熊切 大輔先生

今回は愛媛県立今治工業高等学校、愛媛県立大洲農業高等学校の作品を講評。久留米市立南筑高等学校が見学で参加。緊張気味の生徒の皆さんを熊切先生が和やかにリードします。



### 2 画面共有でアドバイス!

撮影者による作品説明のあと、熊切先生が編集ソフトなどを使って改善点を分かりやすく指南。会話を重ねるうちに生徒の皆さんの緊張も徐々に解け、にこやかな雰囲気。



### 3 Q&Aタイムで追加講義も!

講評中に、ある生徒から「構図がうまく決められない」という悩みが。それを受け、熊切先生はスライドショーで基本的な構図法を説明。大充実の内容で講評会を締めくくりました。

### 参加してみようだった?

「受講前は、生徒たちは“何を言われるんだろう...みんなの前でいっぱいダメ出しされるのか...”と怯えていたようなのですが、受講後は、“勉強になった”と喜んで構図の話などをしていました。受講中、熊切先生のご指導を黒板にメモしていたのですが、ほとんどの生徒がそれを写真に撮って帰っていました。良い学びの機会になったと感じます。(顧問)

「厳格に行われると思っていたのですが、たまに笑いが起こったりとても柔らかい雰囲気の中講義を受けることができました。(生徒)

「講評だけではなく、いろいろな構成の仕方が分かって良かったです!(生徒)

「熊切先生はどんな写真でもまずは褒めてくれて、その次にアドバイスをしてくれました。そのおかげで“写真部だからこう”という写真ではなく、自分の好きなように撮っていいんだと思いました(生徒)

8月~10月の実施分は現在応募受付中!



オンライン講評会はまだまだ実施中。12月まで月2回開催しているのでぜひ参加してください! 見学だけでもOKです!  
 ←募集要項・応募用紙はコチラからダウンロード!

URL [https://www.nikon-image.com/activity/topeye/pdf/2024\\_online\\_kouhyou.pdf](https://www.nikon-image.com/activity/topeye/pdf/2024_online_kouhyou.pdf)

TopEye's OB&OG interview  
 先輩に学ぶ  
 vol.1  
 訪ねて。



柳生 陽音さん

日本大学芸術学部写真学科1年生。福井県立丹生高等学校卒。第71回ニッコールフォトコンテスト 第4部 TopEye&Kids ニッコール大賞を受賞。ほか数多くのコンテスト受賞歴を持つ

Instagram: haruto6.2.5yh



愛用カメラ Nikon D500

「高校入学の際に祖父から譲り受けた2台目カメラ。連写に強く、フォーカスポイントも多いのでいろいろな構図に対応してくれます」

諦めずに撮り続けること

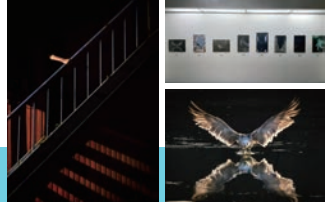
小学校5年生のとき、祖父からコンパクトデジタルカメラを譲り受けたのがカメラを始めたきっかけです。高校で写真部に入部してから本格的に学び始め、コンテストにも応募するように。ですが、すぐに結果を出せたわけではなく、1年生の頃は落選ばかり。野鳥をメインにした当時の僕の作品は、綺麗なだけで面白みに欠けるという評価でした。同級生は入賞しているのに……という焦りのなか、周囲の助言もあってジャンルを広げることを決意。人物や演出写真など、部員の協力のもと未経験の写真にトライしました。

最初は苦戦しましたが、今となっては思い切った幅を広げてよかったなと。でなければ撮れていなかった作品も多いし、今も取材を受けられていないかと思えます。でも諦めずに努力が報われる日が絶対に来ます。それまでは小さなことでもい

いので目標を決めて、写真を続けてほしいです。撮影で気をつけているのは光の強弱と人と同じような作品にならないようにすることです。特定の時間を狙って撮ったり、構図やアングルを工夫したりしています。まさに「青い世界の僕たち」は、ブルーアワーの瞬間に、自分ならではの視点で撮影した作品です。コンテストに応募するときは、プリントの質やタイトルにもこだわりました。特にタイトルは自分の思いを乗せるべく何案も考えました。

写真学科に通う今は、ドキュメンタリー、ネイチャー、アートなどをテーマに作品を撮っています。高校生の頃は1枚や4枚の写真で勝負することに注力していましたが、今は30枚のような多い枚数でメッセージを伝えることに興味があります。そのために写真集の制作や展示会を行うのが今の目標。他にもやりたいことが山ほどありますが、ただ「いい写真」で満足するのではなく、「何を伝えたいのか」というテーマ性を大事にしながらひとつずつ実現させていきたいです。

1. 第71回ニッコールフォトコンテスト 第4部 TopEye&Kids ニッコール大賞受賞「青い世界の僕たち」。
2. 高3の秋に福井県・金津創作の森美術館で行われた写真部による展示。柳生さんの作品がメインとなった。
3. 第70回ニッコールフォトコンテスト 第4部 TopEye&Kids 特選受賞「狩りのまなざし」。
4. 第12回日韓中高校生フォトコンテスト 優秀賞・熊切大輔賞受賞「Who are you?」



BACON ICE CREAM

奥山 由之 (PARCO出版)

私が写真を撮るきっかけになったのは、奥山由之さんの作品です。それまで、私が写真を見たときの感想って「綺麗」かどうか、でした。もちろん綺麗な写真は美しいし大好きなんですが、奥山さんの撮る写真はそんな感想をぶっ飛ばして、「何だこれ、面白い」ってなるんです。写真を何度も何度も見ても。撮り方・視点・魅せ方にこだわると、ここまで世界は面白くなるかと教えてくれた大好きな写真集です。

飛びます

川島 小鳥、小橋 陽介 (自費出版)

写真家・川島さんと画家・小橋さんの愛に溢れた作品集です。今は簡単には手に入らないのですが、どこかで見る機会があったら絶対に手にとってほしいです。そこには絵と写真という括りをはみ出しまくって、自由で伸び伸びとした、エネルギーに溢れる作品ばかりが載っています。昨年、自分でもこだわった写真集を作ったのですが、本当に大変な手作業の連続だと分かりました。こんな作品を死ぬまでに作りたい、憧れの1冊です。

Lula BOOKS

SERENA MOTOLA. (Lula Japan Limited.)

モトウラ世理奈さんをミュージアムにさまざまなクリエイターが撮影していて、多彩な表現を学ぶことができる1冊です。どれも抜群にかっこよくてかわいい作品の数々。私は、世界観がある写真を撮る上ではディレクションが重要だと考えていますが、各クリエイターのこだわりに触れることができる写真集だと思っています。また、写真だけではなく、各作品の世界観をより伝わりやすくしているデザインも見どころです。

写真家がおすすめる  
 My Recommended  
 Photobooks  
 vol.1



Fujikawa hinano

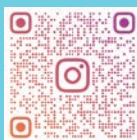
東京生まれの写真家。「日常と非日常の中にある曖昧さ、そして感情を丁寧に表現したい」という信念のもと、WEBメディアでの撮影・ライター、ブランドのルック撮影、ファッション誌、映画のスチールなどで表現を続ける。

Instagram: @nanono1282

HP: http://hinanofujikawa.com

WEB・SNS展開中!  
 チェック&フォローお願いします

TopEyeの公式Instagramでは、コンテストの入賞作品や取材のひとコマ、写真展案内などはりきって更新中。また、ニコンイメージングジャパンの公式LINEではニコンの製品やキャンペーン、ニコンプラザなどの最新情報をお届けします。ぜひフォローしてください!



「TopEye」Instagram



ニコン イメージングジャパンLINE



ニコンイメージングジャパン 「TopEye」WEBサイト